

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	31420	電話	042-769-8236
担当部課名	経済部	商業観光	課	商業振興 班
事務事業名	商店街近代化事業補助金			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第4節	商業・サービス業の振興	63以前年度
施策名	第2施策	にぎわいのある商店街づくりの支援	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市商店街近代化事業補助金交付要綱
---------------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

義務的経費
-------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

あり
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
商店街団体が実施する近代化事業に要する経費の一部を助成することにより、事業の推進を促し、まちづくりや商業地の形成、商業の振興を図る。	市内商店街団体
	対象数 69
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
商店街団体が実施する近代化事業に要する経費の一部を助成。 ・商店街共同駐車場維持補助金 8,906千円 (7団体、8駐車場) ・商店街共同駐車場整備補助金 673千円 (1団体、1駐車場) ・商店街街路灯電気料補助金 19,851千円 (45団体、2,800基) ・商店街環境整備事業補助金 2,467千円 (1団体、街路灯35基) ・公衆浴場設備整備費補助金 1,786千円 (4浴場、4件)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	「日常の買い物」に対する満足度	『市政に関する世論調査』の内、地域の生活環境に関する質問で、「日常の買い物が便利と感じている」と回答した率	多角的な商業地の形成が、市民にとって、どの程度効果を発揮しているかを市民の満足度から測定するため	72	71	72	73	74
活動指標								

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	45,763	40,073	33,683	46,142	45,000
	人員・時間数	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人
	人件費	2,517	2,517	2,517	2,517	2,517
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	48,280	42,590	36,200	48,659	47,517
	特定財源	0	0	0	0	0
	対象数	58	57	58	64	65
	対象の単位あたり経費	832.4	747.2	624.1	760.3	731.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	多角的な商業地の形成が、市民にとって、どの程度効果を発揮しているかを市民の満足度から測定するため指標とした。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市民生活の利便性向上に一定の効果を上げている。経済情勢の変化に対応し、内容の見直しを図っている。
(3)有効性 評価 B ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		施設の設定や維持にかかる商店街団体の負担軽減と組織の円滑な運営に効果を上げている。まちづくりや良好な商業地の形成のため、未達成の区域での事業実施が求められる。
		説明	施設の設定や維持にかかる商店街団体の負担軽減と組織の円滑な運営に効果を上げている。まちづくりや良好な商業地の形成のため、未達成の区域での事業実施が求められる。
(4)効率性 評価 B ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 商店街団体の事業ではあるが、地域のまちづくりと一体となっており、特に街路灯については防犯、交通安全の役割もある。市が実施した場合の費用を考慮すると、費用対効果は妥当である。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	対象施設の設定において、受益者に対し相応の自己負担を求めている。また、利用料金収入や市の施設を活用できる場合について、自己負担の均衡を図るため、補助率、補助対象などの設定を考慮している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 時代の変化に伴い、助成内容を見直ししていくことで、よりニーズにかなった商店街団体の近代化が進み、まちづくり及び商業振興が図られる。	手段	・補助率の見直し ・補助限度額の新設 ・既存施設の活用(施設の修繕や器具の取り替えにより既存施設の長期使用を図る) ・市施設の活用(市営駐車場を活用した駐車場の確保)
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		施設の新設に対する助成のほか、既存施設や市施設の活用などにより全体事業費の抑制を推進するなど、市独自の事業費削減策を取り入れている。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	当該事業はまちづくりや良好な商業地の形成と一体となっており、賑わいあるまちづくりや消費者の来街促進による商店街の活性化、商業の振興に効果を上げている。平成15年度からは、街路灯の修繕、市営駐車場回数券の商店街共同購入を補助対象に加えた。今後も時代のニーズに対応できるよう助成対象などを検討していく必要があり、3年以内に再度見直しを行う。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

補助率の見直し、費用対効果の検証を行うこと
-----------------------